

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者: 富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成29年3月10日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2017年09週(02月27日～03月05日)

○ 山梨県内流行情報

インフルエンザについては中北保健所管内、峡東保健所管内で引き続き警報レベルとなっています。中北保健所峡北支所管内及び富士・東部保健所管内では、警報レベルが解除となり、峡南保健所管内の注意報レベルも解除となりました。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内で定点当たりの報告数が急増しています。また、富士・東部保健所管内の流行性耳下腺炎が注意報レベルの解除となりました。これらの感染症を予防するためには、咳エチケットの励行、手洗い、うがいなどを行いましょ。

【今週の警報】: インフルエンザ(中北保健所管内、峡東保健所管内)

【今週の注意報】: なし

○ 富士・東部管内流行情報

インフルエンザの報告数は少なくなってきていますが、手洗い・うがい・マスク着用、加湿器などで湿度を保つなどの感染予防に努めると共に、体調が悪い時は無理をせず早めに医療機関を受診しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	67273	13.55	696	0.22	1257	0.4	7687	2.43	17136	5.41	1035	0.33
山梨県	475	11.59	-	-	10	0.42	56	2.33	97	4.04	9	0.38
中北	206	14.71	-	-	1	0.13	14	1.75	30	3.75	6	0.75
中北峡北	79	9.88	-	-	6	1.2	32	6.4	21	4.2	2	0.4
峡東	80	11.43	-	-	-	-	5	1.25	10	2.5	-	-
峡南	29	9.67	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-
富士・東部	81	9	-	-	3	0.6	5	1	30	6	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	333	0.11	237	0.07	1188	0.37	16	0.01	59	0.02	1927	0.61
山梨県	3	0.13	2	0.08	4	0.17	-	-	-	-	11	0.46
中北	3	0.38	2	0.25	1	0.13	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.4	-	-	-	-	5	1
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3	0	319	0.46	9	0.02	14	0.03	159	0.34	3	0.01
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	4	0.4	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	9週		8週		7週		6週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	流行しています	11.59	475	20.32	833	23.12	948	28.71	1177
RSウイルス感染症	-	-	-	-	0.04	1	-	-	0.08	2
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.42	10	0.46	11	0.92	22	0.25	6
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	2.33	56	2.54	61	2.67	64	4.08	98
感染性胃腸炎	減少しています	平年並みです	4.04	97	6.13	147	5.5	132	6.75	162
水痘	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.25	6	0.17	4	0.29	7
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.13	3	0.08	2	0.13	3
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.17	4	0.08	2	0.08	2
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.13	3	0.33	8	0.17	4
百日咳	-	-	-	-	0.04	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	0.04	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	減少しています	平年並みです	0.46	11	1.33	32	0.38	9	0.71	17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.33	3	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年並みです	0.4	4	0.3	3	0.3	3	0.8	8
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	梅毒	中北	男	42